# 平成２６年度　「確かな学力」実践研究事業

# 国語科　公開授業･授業研究会

授業者　桐生市立川内小学校　早川　留美子　教諭
平成26年11月7日（金）　第2学年

## お気に入りの場面のペープサートの動かし方を考えることを通して、読みを深める第2学年の学習を公開しました！

授業研究会では、提案された手立てを基に、言語活動や並行読書等の課題や対応策について、様々な意見が交流され、授業改善に向けて多くのヒントが出されました。

**【単元】** ２年『ペープサートで、物語のお気に入りの場面を紹介しよう』
～行動を表す言葉を中心に想像を広げて読む～
教材「きつねのおきゃくさま」ほか

**【本時のねらい】**
　お気に入りの場面を、ペープサート劇で紹介する活動を通して、登場人物の行動や言葉に着目して読むことの大切さに気付き、想像を広げて読ませる。

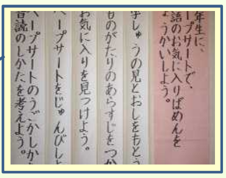
**【伸ばしたい資質･能力】**

・文の中における主語と述語の関係
・～する、～と言うなどの登場人物の言動の把握
・かぎ「　」の用い方の知識
・挿絵の活用による登場人物や場面の様子の把握
・登場人物の行動を中心に、場面の様子を想像しながら読む力

**【提案する手立て】**
①登場人物の言動に着目させるためのペープサートの活用
（指導プランＰ４「物語の内容について、登場人物の行動を中心にして想像を広げる。」）
（実践の手引きＰ６「行動を表す叙述に気付き、想像を広げることができる。」）
②学んだ読み方を副教材に適用させる活動の設定
（実践の手引きＰ３「（３）身に付けさせたい力の一般化」）

# 授業の様子

## 1．本時の学習課題を確認する



前時までの学習と本時の学習について、ホワイトボードに掲示してある学習計画を使って確認しました。

**【学習課題】**
ペープサートで、お気に入り場面を、上手に伝えるためのひみつを見つけよう。

教師がペープサート劇（『お手紙』）を実演し、児童に興味をもたせるとともに、不十分な動かし方を例示し学習課題の解決に結び付けました。

上手にやってみるからね。

動かし方あってなくてへんだよ。

棒読みになっていておかしいよ。

<不十分な部分に気付いている児童>

## 2．ペアで、それぞれが考えたペープサート劇を見せ合う

| ＜劇をする人＞ | ＜聞く人＞ |
|---|---|
| ・お気に入りの場面とお気に入りの理由を説明する | ・動かし方と音読を視点に「よかったところ」と「アドバイス」を伝える |

きつねがひよこと話している場面です。心が温まるからです。

心を込めて言っていたのがよかったです。

## 3．ペープサートで、お気に入りの場面を、上手に伝えるための秘密について話し合う。

二人の児童を指名し、ペープサートを実演させて、感想を交流させながら、全体で秘密について考えさせた。

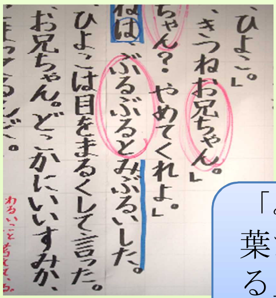
（手立て①）
《指導プラン p.4》
《実践の手引き p.6》

①一人目の発表

どんなところがよかったかな。

声をかえて読んでいてよかった。

ぶるぶる動かしたところがよかった。



「みぶるいした」という言葉だけでなくて「ぶるぶる」という言葉を見付けて動かしたんだね。

②二人目の発表

ちょっと激しい声で読んでいたね。どうしてかな。

「守ろうとした」や「勇気がわいた」を見付けると音読の仕方が分かるね。

**ここがポイント**

全文掲示を使用し、動かし方や音読の仕方について、表現に基づき、確認したり児童の考えを深めさせたりしました。

# 授業の様子

## 4. 本時のまとめをする

上手にペープサート劇をするための秘密として、言動を表す言葉だけでなく、それを詳しくしている言葉や意味を表す言葉に着目するとよいことをまとめた。

## 5. 副教材に適用する

（手立て②）
《実践の手引きp.3》

本時に学んだことを生かして、自分の選んだ本のお気に入りの場面について、ペープサートの動かし方について考えさせた。

どう読むか、どう動かすか、自分の選んだ場面に書き込んだり、ペープサートを実際に動かして、動きを確かめたりしました。

あと１時間練習したら１年生に紹介するよ。がんばりましょう。

## 6. 本時の学習を振り返り、まとめる

学習計画表に本時の振り返りをさせた。

**【授業研究会での意見】**

**＜よかった点＞**

- 児童が明確に「相手意識」「目的意識」をもっており、意欲的に取り組んでいた。
- ペープサートを取り入れたことは、児童一人一人が意欲的に学習に取り組み読みを深める手立てとして有効であった。
- 並行読書がしっかりと位置付けられ、提案性に富む授業だった。

**＜改善点＞**

- 言動を表す言葉やそれを詳しくしている言葉、意味を表す言葉について、副教材でも確認させる機会を作ることで、並行読書の有効性がより確かなものにしたい。
- 児童に感想を書かせるなどの書く活動を取り入れることで、ねらいの達成により近づけさせたい。

**【参加者の声】**

- どんな力を身に付けさせ、そのためにはどんな活動が必要なのか考えることの大切さを感じました。今回ペープサートという手段を使った授業を参観できて、「身に付けさせたい力と活動のつながり」ということがよく分かりました。今後、この視点を大切にしていきたいです。
- 並行読書の取り入れ方を見ることができてとてもよかったです。子どもたちが副教材の本（並行読書の本）に関心をもっていることがよく分かりました。
- 「想像を広げる」ためには、子どもたちの生活体験や読書体験が、大切だとあらためて思いました。また、学習したことを他の文章でも実際にやってみる（活用させる）ことの重要性を実感しました。そのためにも並行読書を効果的に取り入れていきたいと思いました。

**【授業者の感想】**

ペープサートを使用したり、並行読書を取り入れたりすると、熱心に本文を読む児童の姿が見られました。単元を貫く言語活動は、児童の主体的な読みにつながるという実感を得ることができました。授業研究会でいただいたご意見を今後の指導に生かしたいと思います。